

くらしを 未来を ひらく。 たに なが 谷永けんじ



議会での所属 役職歴など

- ・会派：凜風会
- ・議会運営委員会委員長
- ・総務常任委員会
- ・予算決算常任委員会
- ・広報広聴委員会広聴部長
- ・議会改革特別委員長
- ・広報特別委員長
- ・開票事務不正調査特別委員長
- ・甲賀市監査委員
- ・第13代・16代議長
- ・甲賀広域行政組合議会議長

プロフィール

- ・1960年6月生まれ
- ・甲賀市信楽町神山
- ・水口高等学校普通科卒
- ・大阪商業大学商経学部卒

主な職歴・活動経歴

- ◆ 消防分団長
- ◆ 小・中 PTA 会長
- ◆ 商工会青年部長
- ◆ (福)しがらき会評議員
- ◆ 信楽商店協同組合理事
- ◆ (公社)水口納税協合理事



谷永けんじ後援会事務所

〒529-1812
甲賀市信楽町神山 2370
TEL 0748-82-3372
FAX 0748-82-0438
E-mail/info@taninaga.com

フェイスブック/



ホームページ/



後援会入会
申込受付中
オンラインフォーム
(PDF) (印刷用紙あり)

これまででも これからも
**あなたの声を
市政に!**

たに なが
**谷永
けんじ**

皆様のご支援のおかげで、4期16年にわたり市議会議員として活動させていただきましたこと、心より感謝申し上げます。

甲賀市は誕生から20年を迎えました。インフラや公共施設の整備が進み、工業出荷額の増加により「ものづくりのまち」としての存在感を高めています。信楽焼や甲賀忍者の日本遺産認定、全国植樹祭や国スポ・障スポの開催、さらにはドラマや映画の舞台にもなり、文化・スポーツ・産業の各面で注目を集めています。

一方で、人口減少や少子高齢化、甚大な自然災害、地球温暖化、そしてコロナ禍など、未曾有の出来事とともに社会の価値観や職業観は大きく変化してきました。こうした時代の転換期において、行政運営や政治も柔軟かつ的確な対応が求められています。

私は、市民の皆様の安心・安全、そして希望ある暮らしを実現することが政治の大切な役割だと考え、これまで一貫して市民福祉の向上に努めてまいりました。使命感を持って議論を尽くし、市政をチェックし、政策提言を行いながら、市政の推進と改善に力を注いでまいりました。その実績を活かしつつ、皆様の声を市政に反映し、持続可能な郷土・甲賀市の未来を共に描いていきたいと強く願っております。

今後も、皆様の信頼に応え、納得いただける政治活動に誠心誠意取り組み、与えられた役割を全うしてまいります。

谷永 兼二

くらしを **守り** 未来を **ひらく**。



1 次代を担う子どもたちのために

子どもは社会の宝。子育て・教育環境を充実し、安心して子どもを産み育てられる甲賀市を実現し、子どもたちが生き生きと育ち、多様な学びの場の実現と持続可能な行政運営により。若者・子育て世代にも選ばれるまちづくりを目指します。

- ◇小中学校において、**地域社会と連携した課題解決型・探求型の教育**の推進
- ◇保育園・幼稚園・子育て支援センターや放課後児童クラブ等の**環境整備**と保育士等の**処遇改善と人材確保**
- ◇不登校児童生徒への**きめ細かな支援**とフリースクールなど**多様な学びの場**の環境整備
- ◇地元高等学校のさらなる**魅力度向上への支援**
- ◇**持続可能な行政運営と公共施設総合管理計画**の有効な実施



3 安心して暮らせる余白のあるまち

誰もが住み慣れた地域で、健康で安心して自分らしく暮らすことができるまちづくりを目指します。

- ◇災害に強い体制・基盤の構築
- ◇事故、犯罪等の未然防止対策
- ◇地域医療体制の充実と医療従事者確保
- ◇おひとりさま高齢者（身近に相談する人、頼れる人がいないなど）の**自立的生活支援強化と重層的支援**の推進
- ◇障がいがある方への支援の充実
- ◇多文化共生で誰もが住みやすいまちづくり
- ◇スポーツ・文化を起点とした地域の活性化
- ◇デジタル技術を活用し、暮らしの困りごとや社会課題の解決



これまでの 主な成果

- 住宅リフォーム制度創設
- 信楽中温水プール一般開放
- 信楽高原鐵道災害復旧
- 発達障害児者支援強化
- 乳児検診の拡充
- 病児保育実施
- フリースクール支援
- コミュニティタクシーの充実
- 学校施設環境整備
- ライフジャケット着用促進
- 市内同等施設の管理、利用料の不均衡是正
- 地域課題解決に向けて
- スケートボードエリアの設置
- ネーミングライツ制度 他

頑張ったひとが報われ、頑張りがなかったひととは救われるひとにやさしい政治をめざします。



2 甲賀で叶える新しい豊かさ

少子高齢化、人口減少に加え、多様化する価値観による新しい日常に適した、新しい豊かさを実感できるまちづくりを目指します。

- ◇**地元就労と人材確保**への支援充実
- ◇公共交通の充実と誰もが移動しやすい環境づくり
- ◇都市基盤の維持形成のための幹線道路網の整備推進
- ◇起業家・地元企業が創業、事業継承に挑戦できる環境整備の支援
- ◇地場産業の力強い発展と産業として成り立つ観光強化
- ◇空き家等の活用により移住・定住・起業による新たな価値創出
- ◇若者の就農を支える環境整備とオーガニックビレッジの拡充
- ◇自然と調和し、脱炭素を進める環境未来都市の実現



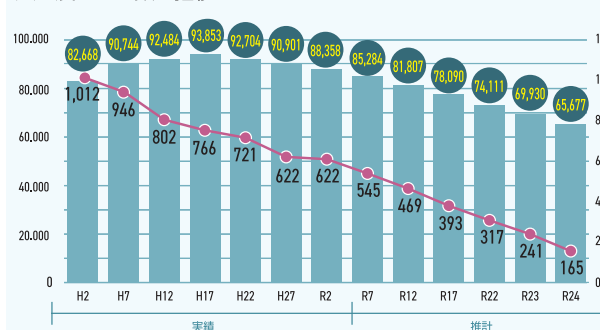
4 信頼・期待に応える、開かれた議会

議員は市民の代弁者であり、負託を受け責任ある判断に臨まなければなりません。議会基本条例を基に、開かれた議会を目指します。

- ◇議会としての**合意形成と政策提言**による課題解決
- ◇市民参加を促す**広報・広聴機能の強化**
- ◇議員定数・議員報酬の見直し議論の促進



人口及び出生数の推移



出典 「人口：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所「将来人口推計」
出生数：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査
※出生数の推計は、実績に基づいた独自推計

公共建築物の将来改修・更新費用試算結果（累計）

